

1 提案者 元島弘人（松本市立今井小学校）

2 提案内容

- (1) 単元名 「道の駅と交流しよう ～今井地区の特産品『りんご』について～」
- (2) 利用した番組名 「ドスルコスル 地域のよさを伝えよう～福岡県久留米市立犬塚小学校3年～」
- (3) 授業のねらい

今井地区にある道の駅との交流を通して特産品のりんごに興味をもった子ども達が、NHK for school の「ドスルコスル 地域のよさを伝えよう～福岡県久留米市立犬塚小学校3年～」を見ることを通して、「久留米市の玉ねぎ農家は減っているが今井地区のりんご農家はどうなっているのか」という疑問をもち、実際に調べようという意欲をもつことができる。

(4) 授業の実践記録（令和5年8月25日4校時）

段階	学習活動	児童・生徒のようす	指導・助言	備考
導入	1 今井地区の特産品が何かを答える。	・りんごやももが有名だね。 ・果物が多いよね。	発問：今井地区の特産品は何ですか	
	2 一番有名なものは何か考える。	・りんごだね。 ・僕の家でも育てているよ。 ・おじいちゃんが育てているよ。	発問：一番有名なものは何ですか 発問：家族がりんごを育てている人は手を挙げましょう	
	3 りんごについて知っていることを挙げる。	・たくさんの種類があるんだよ。 ・僕の家でも沢山育てているよ。 ・道の駅で秋に沢山売っているよ。	・りんごの特徴だけでなく、生産者や販売場所についてなども出させる。	
展開	4 NHK for school の「ドスルコスル 地域のよさを伝えよう～福岡県久留米市立犬塚小学校3年～」を見る。	・玉ねぎが特産品なんだな。 ・玉ねぎ農家が71件あるんだ。多いなあ。 ・色々工夫しておいしい玉ねぎを育てようとしているんだな。 ・久留米市の玉ねぎ農家、減っているんだ。 ・特産品なのになんで作る人が減っているんだろう。	・動画を全て見せるのではなく、必要な場所を区切って見せる。 ①地区と特産品の紹介 0～1：50 ②時里さんの紹介と「なぜ玉ねぎ農家をしているか」という問い 1：50～3：17 ③久留米市で玉ねぎ農家が減っているという説明 3：17～4：07	
	5 今井地区のりんご農家の増減について予想し、調べる方法を考える。	・今井地区のりんご農家は増えているのかな、減っているのかな。 ・そもそも、農家ってどんな人なんだろう。つくったものを出荷している人みんなが農家なのかな。 ・どうやったら調べられるのかな。 ・道の駅の駅長に聞けばわかるかな。 ・家族に聞けばわかるかもしれない。 ・もし減っているとしたら理由は何だろう。	発問：今井地区のりんご農家は増えているのか減っているのか 発問：どうやったらりんご農家の増減を調べられますか	
	6 4 NHK for school の「ドスルコスル 地域のよさを伝えよう～福岡県久留米市立犬塚小学校3年～」の続きを見て、道の駅で聞きたいことを考える。	・僕たちにも道の駅やりんご農家さんのためにできることがあるかな。 ・犬塚小学校の子ども達みたいに、相手にやってほしいことを聞いてみたいな。 ・道の駅に行けば、農家さんにも会えるし、どんなりんごを売っているかも見ることができるよ。	④自分達が玉ねぎ農家さんのためにできること 4：07～10：00 ・犬塚小学校の活動や久留米市の玉ねぎ農家の現状を参考に、道の駅で聞きたいことを考えさせる。	

事前に道の駅に見学依頼を出しておく。

ふり 返 り	7道の駅への見学計画を立てる。	・りんご農家の増減について聞いてみたい。 ・増減の理由も聞いてみたい。 ・僕たちができることを考えたいから、「やってほしいこと」を聞いてみたい。 ・実際にどんなりんごを売っているのか見てみたい。	・班ごとに質問したいことをまとめさせる。 ・質問が浮かばないという班には、導入で出された「りんごについて知っていること」が本当かどうかを質問すればよいと伝える。	
--------------	-----------------	--	---	--



(5) 考察

- ・「今井地区の特産品はりんご」ということは全員がわかっていた。しかし、「ドスルコスル 地域のよさを伝えよう～福岡県久留米市立犬塚小学校3年～」を見て、「農家の数の増減」という視点をもったことで、子ども達の中に「今井地区の農家数は減っているのか増えているのか」「どうしてその変化が起きているのか」「そもそも農家とはどのような人なのか。出荷していれば農家といえるのか」等というわからないことがたくさん子ども達から出てきた。また、動画の中で「玉ねぎ農家71軒」という言葉が出たことから、農家という言葉には定義があり、数えられるものだということに気が付き、だれ（どこ）だったらその数字を出せるのか話し合っていた。これらの疑問や気づきは明らかに動画がきっかけであり、子ども達が主体的・対話的に学ぶきっかけになったと思う。
- ・動画の中では犬塚小学校の子ども達が、様々な課題を「地域の人とつながりをもつこと」でクリアしていた。その取り組む姿勢を見た子ども達は「今井地区のりんご」の課題解決にもいかせそうだと考えていた。「地域の人とつながりをもつこと」で課題をクリアするという基本方針を共有できたことは、今後の主体的、対話的で深い学びの芯となるのではと思う。今後、「誰に何を聞くのか」「実際にどのような行動をするのか」などを検討していく中で、子ども達のよい姿がたくさん見られそうだと感じた。
- ・「ドスルコスル 地域のよさを伝えよう～福岡県久留米市立犬塚小学校3年～」は社会や総合の地域素材について学ぶ際の導入にぴったりだと感じた。「①特産品をあげさせる ②特産品について知っていることをあげさせる ③動画を見せる ④地域の特産品を作っている人が増えているのか減っているのか問いかける（ほぼ「わからない」という答えになる） ⑤誰（どこ）に聞けばいいか検討する」という流れで交流のきっかけを作ることができる。

(6) 番組への要望

- ・今回の「農業」だけでなく、「工業」「漁業」での子ども達と産業関係者との関わりについての動画があると（増えると）嬉しいです。